

高分解能 CT によるインジウム肺病態解明

1. 研究の対象

2003 年～2006 年に慶応義塾大学においてインジウム曝露のために受診した 357 名

2. 研究目的・方法

インジウムは液晶パネル・半導体等の材料で世界的に需要も伸びています。インジウムへの曝露によりインジウム肺という呼吸器の疾患に関連することが分かっていますがその病態は解明されていません。研究に同意していただいた患者さんの HRCT 画像やバイオマーカーを調べることで、インジウム肺の病態解明を目的としています。

研究期間：倫理委員会承認日から 2025 年 3 月まで

3. 研究に用いる資料・情報の種類

資料：胸部 HRCT

情報：バイオマーカー (In-S・SP-D・SP-A・KL-6・GM-CSF・YKL-40 等)・臨床検査等 (肺機能検査・組織検査)

4. 外部への資料・情報の提供

高知大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

高知大学医学部環境医学教室・教授	菅沼成文（研究責任者）
高知大学医学部環境医学教室・学内講師	栄徳勝光
高知大学医学部環境医学教室・講師	Abderrahim Naji
慶応義塾大学医学部	中野真規子
国立病院機構近畿中央呼吸器センター	審良正則

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究代表者・研究責任者：

高知大学医学部環境医学教室教授 菅沼 成文